

# 令和6年度採用 高等学校 美術

教科(科目)	受験番号
美術	

- (1) 下の文章は、西洋画の画材と技法について説明したものである。文中の空欄(ア)～(オ)に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は11。

(ア)を展色剤とする油絵の具が絵画の中心的な画材になったのは15世紀である。それ以前の主要な技法の一つに、卵を展色剤として用い、乾きが早く耐久性に優れている(イ)がある。もう一つの主要な技法である(ウ)は、壁面に塗った漆喰が乾燥(エ)、水で溶いた顔料を塗って描く技法である。

ルネサンス期に(オ)によって描かれた『ヴィーナスの誕生』は、(イ)で描かれている。

- ① ア 揮発性油    イ テンペラ    ウ フレスコ    エ してから  
オ サンドロ・ボッティチェリ
- ② ア 乾性油        イ テンペラ    ウ フレスコ    エ しないうちに  
オ サンドロ・ボッティチェリ
- ③ ア 揮発性油    イ テンペラ    ウ フレスコ    エ しないうちに  
オ レオナルド・ダ・ヴィンチ
- ④ ア 乾性油        イ フレスコ    ウ テンペラ    エ してから  
オ サンドロ・ボッティチェリ
- ⑤ ア 揮発性油    イ フレスコ    ウ テンペラ    エ しないうちに  
オ レオナルド・ダ・ヴィンチ

(2) シルクスクリーンについて説明した次の①～⑤の文章のうち、下線部の内容が誤っているものを一つ選べ。解答番号は12。

- ① シルクスクリーンはステンシルと同じ孔版画の一つである。
- ② 写真製版法では、感光乳剤をバケツと呼ばれる容器に入れてスクリーンに塗布する。
- ③ 写真製版法で用いる下絵は、光を透過するフィルムや紙に遮光性の高いインクで描かれたものが望ましい。
- ④ 感光後にスクリーンを水洗いすると、光が当たった部分の感光乳剤が流れ落ちる。
- ⑤ スクリーンにインクをのせて刷るときには、スキージーと呼ばれる道具を使う。

- (3) 下の作品 A～Dの作者名，4点に共通する芸術運動名と，その芸術運動に関係が深い作家名として最も適切なものを，次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。ただし，完答のみを正解とする。

A	B
著作権保護の 観点により、 掲載いたしません。	著作権保護の 観点により、 掲載いたしません。
C	D
著作権保護の 観点により、 掲載いたしません。	著作権保護の 観点により、 掲載いたしません。

<作者名> 解答番号は13。

- |                |              |
|----------------|--------------|
| ① A ジョアン・ミロ    | B ルネ・マグリット   |
| C サルバドール・ダリ    | D マン・レイ      |
| ② A ジョアン・ミロ    | B サルバドール・ダリ  |
| C ルネ・マグリット     | D マン・レイ      |
| ③ A マルセル・デュシャン | B ルネ・マグリット   |
| C マン・レイ        | D サルバドール・ダリ  |
| ④ A マルセル・デュシャン | B ジョアン・ミロ    |
| C ルネ・マグリット     | D サルバドール・ダリ  |
| ⑤ A サルバドール・ダリ  | B ルネ・マグリット   |
| C ジョアン・ミロ      | D マルセル・デュシャン |

<芸術運動名> 解答番号は14。

- ① ダダイスム    ② 抽象主義    ③ フォーヴィスム    ④ 超現実主義  
⑤ キュビスム

<芸術運動に最も関係が深い作家名> 解答番号は15。

- ① アンリ・ルソー    ② オディロン・ルドン    ③ マックス・エルンスト  
④ アンリ・マティス    ⑤ ポール・セザンヌ

(4) 浮世絵版画について説明した次の①～⑤の文章のうち、下線部の内容が誤っているものを一つ選べ。解答番号は16。

- ① 雲母摺は「きらずり」と読み、雲母の粉末を絵の具に混ぜる技法である。東洲斎写楽の『三世大谷鬼次の奴江戸兵衛』の背景に用いられている。
- ② 空摺は、版木に絵の具をつけずに摺り、紙に凹凸をつける技法である。凹凸の陰影によって、線や模様を表現することができる。
- ③ 浮世絵版画は、版元、絵師、彫師、摺師による分業体制で生み出されていた。
- ④ 浮世絵版画は、江戸前期の墨摺絵に始まり、その後、墨摺絵に筆で彩色をした錦絵が制作され、さらに多色摺の丹絵が制作されるようになっていった。
- ⑤ 主版とは、絵師が描いた版下絵を版木に貼りつけて彫った墨線の版である。



- (5) 下の文章は、彫刻とその指導について説明したものである。文中の空欄（ア）～（オ）に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は17。

彫刻の技法は、粘土などの材料で形を作る（ア）と、木や石を彫って作る（イ）に大別される。

水で練った土粘土（水粘土）による頭像の一般的な制作手順としては、まず木材の心棒をアングルなどで台座に固定する。次に頭部を支える木片を（ウ）でしっかりと結びつける。粘土を心棒につけていき、目や耳、口などの大まかな形を作っていく。乾燥防止のため制作を中断する場合には、（エ）などを巻きつけてビニール袋などで包んでおくように指導する。作品を保存する場合は、石膏などで（オ）を取り、それをもとにして別の素材に置き換える。

- ① ア 彫造    イ 塑造    ウ しゅろ縄    エ ぬらした布    オ 雌型
- ② ア 彫造    イ 塑造    ウ 針金    エ しゅろ縄    オ 雄型
- ③ ア 塑造    イ 彫造    ウ 針金    エ しゅろ縄    オ 雌型
- ④ ア 塑造    イ 彫造    ウ しゅろ縄    エ ぬらした布    オ 雄型
- ⑤ ア 塑造    イ 彫造    ウ しゅろ縄    エ ぬらした布    オ 雌型

- (6) 次の彫刻 A～Cそれぞれの作者名，作品名の組合せとして最も適切なものを，次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。ただし，完答のみを正解とする。

A	B	C
<p>著作権保護の 観点により、 掲載いたしません。</p>	<p>著作権保護の 観点により、 掲載いたしません。</p>	<p>著作権保護の 観点により、 掲載いたしません。</p>

<作者名>

- ア ミケランジェロ・ブオナローティ      イ ジャン・ロレンツォ・ベルニーニ  
ウ オーギュスト・ロダン

<作品名>

- a 青銅時代      b ダヴィデ      c 瀕死の奴隷

<A> 解答番号は18。

- ① アーb      ② アーc      ③ イーb      ④ イーc      ⑤ ウーa

<B> 解答番号は19。

- ① アーa      ② イーb      ③ イーc      ④ ウーb      ⑤ ウーa

<C> 解答番号は20。

- ① アーb      ② アーc      ③ イーc      ④ イーb      ⑤ ウーa

(7) 日本の仏像彫刻について説明した文として誤っているものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は21。

- ① 飛鳥時代を代表する広隆寺の弥勒菩薩半跏思惟像は、北魏様式の仏像である。
- ② 興福寺の阿修羅像と唐招提寺の鑑真和上坐像は、ともに大陸から伝えられた乾漆技法でつくられた仏像である。
- ③ 平安時代初期の仏像は、全身を一本の木から彫り出す一木造が主となる。やや暗く神秘的な表情や誇張された表現に密教の影響が見られる。
- ④ 9世紀末以降の平安時代の仏像彫刻は、頭、胴、腕などの部位に分けてつくる寄木造の技法が主となっていった。
- ⑤ 鎌倉時代の仏像彫刻では、運慶が指導的な役割を果たした。興福寺の無著立像、東大寺の金剛力士立像などが運慶の作である。

(8) 木材工芸の道具と使い方の指導について説明した文として誤っているものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は22。

- ① 小刀のさやを抜くときは、さやを握った手と柄を握った手の親指どうしを合わせ、互いの親指を押し出すようにすると、安全に抜くことができる。
- ② 電動糸のこ盤の刃を交換するときは、電源のコンセントからプラグを外し、刃を上部締め具に固定してから下部締め具に固定する。
- ③ 木材をオイル仕上げで塗装する場合、オイルの染み込んだウエスは酸化重合反応によって自然発火するおそれがあるので、捨てる場合は水につけるか、ビニール袋に空気を抜いて密閉してから廃棄するようにする。
- ④ 紙やすりで木地を磨く場合は、数字（番手）の小さい紙やすりから数字（番手）の大きい紙やすりへと順次使って、滑らかにしていくようにする。
- ⑤ げんのうで釘を打つ場合は、頭の平らな面で先に打ち、最後に頭の丸い面で打ち込むようにする。

- (9) 下の文章は、陶芸における陶器と磁器の違いについて説明したものである。文中の空欄（ア）～（カ）に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は23。

焼き物は土の種類や焼成方法などによって、土器・炆器・陶器・磁器などに分けられる。陶器と磁器では原料が異なる。陶器の原料は（ア）であるが、磁器の原料は（イ）である。磁器の焼成方法は（ウ）焼成であり、その焼成温度は陶器よりも（エ）。

楽焼や織部焼、志野焼などは（オ）であり、伊万里焼や有田焼、九谷焼などは（カ）である。

- ① ア 陶石    イ 土    ウ 酸化    エ 高い    オ 陶器    カ 磁器
- ② ア 陶石    イ 土    ウ 還元    エ 低い    オ 磁器    カ 陶器
- ③ ア 土    イ 陶石    ウ 還元    エ 高い    オ 陶器    カ 磁器
- ④ ア 土    イ 陶石    ウ 酸化    エ 高い    オ 磁器    カ 陶器
- ⑤ ア 土    イ 陶石    ウ 還元    エ 低い    オ 陶器    カ 磁器

- (10) 19世紀後半からの工芸やデザインに大きな影響を与えた芸術運動や団体，芸術教育機関と，それを展開した人物の組合せとして最も適切なものを，次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は24。

<芸術運動や団体，芸術教育機関>

- A デ・ステイル
- B バウハウス
- C アーツ・アンド・クラフツ運動
- D ドイツ工作連盟

<人物>

- ア ウィリアム・モリス
- イ ヘルマン・ムテジウス
- ウ ヴァルター・グロピウス
- エ ヘリト・トーマス・リートフェルト

- ① A－イ      B－ウ      C－ア      D－エ
- ② A－イ      B－エ      C－ア      D－ウ
- ③ A－エ      B－ア      C－ウ      D－イ
- ④ A－エ      B－ウ      C－ア      D－イ
- ⑤ A－ウ      B－エ      C－イ      D－ア

- (11) 下の椅子 A～C とそのデザイナーの組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は25。

A	B	C
著作権保護の 観点により、 掲載いたしません。	著作権保護の 観点により、 掲載いたしません。	著作権保護の 観点により、 掲載いたしません。

<デザイナー>

ア ハリー・ベルトイア

イ アルヴァ・アアルト

ウ 新居猛

エ アルネ・ヤコブセン

- ① Aーア            Bーイ            Cーウ
- ② Aーイ            Bーア            Cーエ
- ③ Aーウ            Bーエ            Cーイ
- ④ Aーエ            Bーウ            Cーイ
- ⑤ Aーエ            Bーイ            Cーア

(12) ポスターカラーを使った色面構成の指導について説明した文として誤っているものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は26。

- ① ポスターカラーを混色する場合には、筆などで完全に混ぜ合わせ、分量はやや多めにつくる。ムラなく色面を塗るために、水の量の加減に注意する。
- ② 筆で直線を引きたいときには、細筆とガラス棒などの溝引き棒を箸のように持ち、ガラス棒を定規の溝に当てて滑らせながら、筆で線を引く。
- ③ ポスターカラーは不透明なので塗り重ねて下地の色を塗りつぶすことができる。水溶性なので下地が完全に乾いてから行うようにする。
- ④ 白抜きにしたい箇所には、マスキングテープを貼ってからポスターカラーを塗り、ポスターカラーが完全に乾いてからマスキングテープをはがすようにする。
- ⑤ 平塗りをするときには、はじめに図柄の中の塗りやすい部分を塗り、次に輪郭線や細かい部分を塗って仕上げていくとよい。



- (13) 下の図は、PCCS（日本色研配色体系）のトーン分類図である。図中の空欄  
A ~ F に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～  
⑤の中から一つ選べ。解答番号は27。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- ① A 彩度 B 明度 C 低い D 高い E ビビッド F ペール  
② A 彩度 B 明度 C 高い D 低い E ペール F ビビッド  
③ A 明度 B 彩度 C 低い D 高い E ビビッド F ペール  
④ A 明度 B 彩度 C 低い D 高い E ペール F ビビッド  
⑤ A 明度 B 彩度 C 高い D 低い E ペール F ビビッド

(14) 下のイラストレーション A～C とその作者の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は28。

A	B	C
<p style="text-align: center;">著作権保護の 観点により、 掲載いたしません。</p>	<p style="text-align: center;">著作権保護の 観点により、 掲載いたしません。</p>	<p style="text-align: center;">著作権保護の 観点により、 掲載いたしません。</p>

- ① A 五味太郎      B ペーター佐藤      C 中村佑介
- ② A 五味太郎      B 鈴木英人      C 中村佑介
- ③ A 和田誠      B ペーター佐藤      C 鈴木英人
- ④ A 和田誠      B 中村佑介      C 鈴木英人
- ⑤ A 五味太郎      B 中村佑介      C ペーター佐藤

- (15) 下の文章は、写真と映画技術のはじまりについて説明したものである。文中の空欄（ア）～（カ）に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は29。

ピンホール現象によって得られる像を、レンズを用いてより明るい像にするカメラ・オブスキュラが使われていたのは（ア）世紀頃からである。

（イ）世紀の中頃には、この像を銀メッキした銅板上に定着させる写真技術である（ウ）の特許が取得された。（イ）世紀の後半には、（エ）が連続写真の撮影技術を考案した。その後、ロール状のフィルムに連続写真を記録できるようになると、それを連続的に投射することで映画の技術が生まれる。（イ）世紀末には、トーマス・エジソンが（オ）、リュミエール兄弟が（カ）という映像の鑑賞装置を開発した。

- ① ア 15                      イ 19                      ウ ダゲレオタイプ  
エ エドワード・マイブリッジ                      オ キネトスコープ  
カ シネマトグラフ
- ② ア 15                      イ 18                      ウ ダゲレオタイプ  
エ ルイ・ジャック・マンデ・ダゲール                      オ キネトスコープ  
カ シネマトグラフ
- ③ ア 14                      イ 19                      ウ テアトル・オブティーク  
エ ルイ・ジャック・マンデ・ダゲール                      オ キネトスコープ  
カ シネマトグラフ
- ④ ア 16                      イ 18                      ウ テアトル・オブティーク  
エ エドワード・マイブリッジ                      オ シネマトグラフ  
カ キネトスコープ
- ⑤ ア 15                      イ 19                      ウ ダゲレオタイプ  
エ エドワード・マイブリッジ                      オ シネマトグラフ  
カ キネトスコープ

- (16) 下の写真 A～C とその作者の組合せとして最も適切なものと、3つの写真に共通している写真撮影上の特徴として最も適切なものを、次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。ただし、完答のみを正解とする。

A	B
<p style="text-align: center;">著作権保護の 観点により、 掲載いたしません。</p> <p style="text-align: center;">(THE EXPLOSION!)</p>	<p style="text-align: center;">著作権保護の 観点により、 掲載いたしません。</p> <p style="text-align: center;">(「BLAST」シリーズより)</p>
C	
<p style="text-align: center;">著作権保護の 観点により、 掲載いたしません。</p> <p style="text-align: center;">(「本日の浮遊」シリーズより)</p>	

<作者> 解答番号は30。

- |                     |        |        |
|---------------------|--------|--------|
| ① A アシュリー・ヴィンセント    | B 畠山直哉 | C 川内倫子 |
| ② A アシュリー・ヴィンセント    | B 畠山直哉 | C 林ナツミ |
| ③ A アンリ・カルティエ・ブレッソン | B 池田昌夫 | C 川内倫子 |
| ④ A アンリ・カルティエ・ブレッソン | B 川内倫子 | C 林ナツミ |
| ⑤ A アシュリー・ヴィンセント    | B 池田昌夫 | C 畠山直哉 |

<写真撮影上の特徴> 解答番号は31。

- ① ピントの合う奥行きを小さくして背景をぼかす。
- ② ピントの合う奥行きを大きくして背景を鮮明にする。
- ③ シャッタースピードを高速に設定する。
- ④ シャッタースピードを低速に設定する。
- ⑤ 動く被写体に合わせてカメラを動かしながらシャッターを切る。

- (17) 下のアニメーション作品 A～D とその作者の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は32。

A『手』	B『霧の中のハリネズミ』
著作権保護の 観点により、 掲載いたしません。	著作権保護の 観点により、 掲載いたしません。
C『木を植えた男』	D『アクメッド王子の冒険』
著作権保護の 観点により、 掲載いたしません。	著作権保護の 観点により、 掲載いたしません。

- ① A イジー・トルンカ                      B ユーリ・ノルシュテイン  
C フレデリック・バック                  D ロッテ・ライニガー
- ② A イジー・トルンカ                      B フレデリック・バック  
C ユーリ・ノルシュテイン              D ロッテ・ライニガー
- ③ A ロッテ・ライニガー                    B ユーリ・ノルシュテイン  
C フレデリック・バック                  D イジー・トルンカ
- ④ A ロッテ・ライニガー                    B フレデリック・バック  
C イジー・トルンカ                      D ユーリ・ノルシュテイン
- ⑤ A ユーリ・ノルシュテイン              B イジー・トルンカ  
C ロッテ・ライニガー                    D フレデリック・バック

- (18) 下の文章は、「高等学校学習指導要領（平成30年3月告示 文部科学省） 第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第2款 各科目 第4 美術 I 1 目標」である。文中の空欄（ a ）～（ e ）に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は33。

1 目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、（ a ）に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の（ a ）と創意工夫、美術の（ b ）などについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、（ c ）をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) （ d ）に美術の幅広い創造活動に取り組み、（ e ）美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

- ① a 目的 b 特性 c 価値意識 d 積極的 e 生涯にわたり
- ② a 目的 b 働き c 美意識 d 積極的 e 生涯にわたり
- ③ a 意図 b 特性 c 価値意識 d 主体的 e 主体的に
- ④ a 意図 b 働き c 価値意識 d 主体的 e 生涯にわたり
- ⑤ a 意図 b 特性 c 美意識 d 主体的 e 主体的に

- (19) 下の文章は、「高等学校学習指導要領（平成30年3月告示 文部科学省）第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第2款 各科目 第4 美術 I 2 内容」の一部である。文中の空欄（ a ）～（ e ）に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は34。

(3) 映像メディア表現

映像メディア表現に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 映像メディアの特性を踏まえた発想や構想

(ア) 感じ取ったことや考えたこと、（ a ）などを基に、映像メディアの特性を生かして主題を生成すること。

(イ) （ b ）、動きなどの映像表現の（ c ）な要素の働きについて考え、創造的な表現の構想を練ること。

イ 発想や構想をしたことを基に、創造的に表す技能

(ア) （ d ）に応じて映像メディア機器等の（ e ）の特性を生かすこと。

(イ) 表現方法を創意工夫し、表現の（ d ）を効果的に表すこと。

- |   |   |       |   |       |   |     |   |    |   |    |
|---|---|-------|---|-------|---|-----|---|----|---|----|
| ① | a | 意図や心情 | b | 色光や視点 | c | 視覚的 | d | 目的 | e | 用具 |
| ② | a | 目的や機能 | b | 色光や視点 | c | 視覚的 | d | 意図 | e | 用具 |
| ③ | a | 意図や機能 | b | 形や色彩  | c | 視覚的 | d | 目的 | e | 用具 |
| ④ | a | 目的や心情 | b | 形や色彩  | c | 造形的 | d | 意図 | e | 技術 |
| ⑤ | a | 意図や機能 | b | 色光や視点 | c | 造形的 | d | 意図 | e | 技術 |

(20) 「高等学校学習指導要領（平成30年3月告示 文部科学省） 第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第2款 各科目 第4 美術I 3 内容の取扱い」において示された事項について、下線部の内容が誤っているものを、次の①～⑥の中から三つ選べ。解答番号は35。

- ① 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導については、中学校美術科との関連を十分に考慮し、「A表現」及び「B鑑賞」相互の関連を図り、特に技能に関する資質・能力と鑑賞に関する資質・能力とを総合的に働かせて学習が深められるようにする。
- ② 内容の「B鑑賞」の指導については、各事項において育成を目指す資質・能力の定着が図られるよう、適切かつ十分な授業時数を配当するものとする。
- ③ 内容の〔共通事項〕は、表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力であり、「A表現」及び「B鑑賞」の指導と併せて、十分な指導を行い、各事項の実感的な理解を通して、生徒が造形を豊かに捉える多様な視点がもてるように配慮するものとする。
- ④ 内容の「A表現」の指導に当たっては、スケッチやデッサンなどにより観察力、思考力、描写力などが十分に高まるよう配慮するものとする。
- ⑤ 内容の「A表現」の指導に当たっては、主題の生成から表現の確認及び完成に至る全過程を通して、自分のよさを発見し喜びを味わい、心豊かな社会の創造を果たしていく態度の形成を図るよう配慮するものとする。
- ⑥ 内容の「B鑑賞」の指導に当たっては、日本の美術も重視して扱うとともに、西洋の美術などについても扱うようにする。





